

# ハイブリッドワーク

## ダイコー

**iss honi**  
に厚口タイプ  
ダイコーは、リモートワークやカフェでの仕事でパソコンと一緒に使える横型ノート「iss honi ノートブックデスク」に、たくさん使えるペン数が多く物を要望するユーザーの声を聴いて、ページ数の多い厚口タイプをラインアップ。



「iss honi ノートブックデスク」は、リモートワークやオンライン会議など、パソコンを前にして仕事や勉強の際に、メモしたい、ノートをとりたと思う時に、「スペースが確保できない」という困り事にフォーカスした、パソコンの前の狭いスペースに置く、横型のノート。多様な状況において活用できる優れたデザインが評価され、「2023年グッドデザイン賞」を受賞。

厚みのあるノートは、長期間の使用でも耐えられる様に表紙にP加工を施し、汚れにくく破れにくい丈夫な仕様になっている。リモートワークによく使われている13インチ

「iss honi ノートブックデスク」は、リモートワークやオンライン会議など、パソコンを前にして仕事や勉強の際に、メモしたい、ノートをとりたと思う時に、「スペースが確保できない」という困り事にフォーカスした、パソコンの前の狭いスペースに置く、横型のノート。多様な状況において活用できる優れたデザインが評価され、「2023年グッドデザイン賞」を受賞。

# トライ&エラーで

## 顧客に喜ばれる商品提供

今本 逸郎



新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスが世界で初めて確認されたから2020年12月に3年が経ち、まだまだ新しい状況です。依然として厳しい状況です。然しながら、まん延防止等重点措置が終了し、行動制限の緩和、インバウンド解禁後の訪日客の増加、サッカーワールドカップの盛り上がりなど、景況感に明るい兆しも

見え始めています。新型コロナウイルスが進展させたワークスタイルの変化によって、小売業界は新たなフェーズに入りました。こうした変化に対応し、オエステテ各社は新しいビジネスモデル構築を模索していますが、コロナ禍の変化に立ち向かう様々な取り組みがこれからの小売業界の新しい姿を創り出すと確信し、日々奮闘努力しています。

オエステテは「コロナ禍でやめていたリアルで会う機会を昨年復活させました」出先宮崎市の店舗見学、展示会下LATでの東京ミューテイング

など、オンラインでの交流では得られない、実際に会って話す価値を実感しました。「会って、話す」ことはオンラインコミュニケーションにも良い影響を与えています。2023年春にスタートしたデザインフィルとのコラボ企画「ミドリ70周年オエステテスペシャルキャラバン」オエステテ加盟店11店を巡るスペシャルキャラバン、2023年12月10日発売のオエステテオリジナル商品「CUSTOM 74 紅藤benifurii」(日本の美しい伝統色を表現したオエステテ

オリジナルカラー第2弾)も好評です。このように、コロナ禍であってもお客様に喜ばれる商品やサービスを提供すれば、コロナ禍であっても店舗集客できると確信しています。

専門店70店舗からなる「オエステテ」は、トライ&エラーで力を伸ばし、発展していく西日本の文具専門店ネットワークです。今後ともオエステテの活動を温かく見守っていただき、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。【オエステテ会長、株式会社下屋社長】

「目隠しデスクマット」は透明マットに施された印刷により、間に挟んだ書類やメモなどの文字や画像が見えにくくなり、のぞき見防止にも役立ちます。

フリーアドレスやシェアオフィス、家庭でのデスクワークに最適。印刷が施された透明カバー部分はA4用紙がすっぽり収まるサイズになる。透明マットがない部分は光学式マウスでの操作が可能。

ブラック、ホワイト、ライオンライオン事務器は、在宅ワークで使用される際にもインテリジェントに馴染みやすいペリックなカラーの「モバイルトートバッグLEBIMO(レビモ)」発売。

フリーアドレスやシェアオフィス、家庭でのデスクワークに最適。印刷が施された透明カバー部分はA4用紙がすっぽり収まるサイズになる。透明マットがない部分は光学式マウスでの操作が可能。

# 西日本の専門店ネットワーク オエステテ会 今注目の新製品&ト10選



## ぶんぶん堂松江店

松江市田和山88今井書店グループセンター店内

- 「スーベレーン万年筆」(ペリカン) ストライプが特徴のロングセラーモデル。贈りものほかMyコレクションに華を添える逸品。
- 「黄金の道」(ペーパーブランクス) 金色の装飾に目を奪われる装丁。ドラクエ文具と一緒に展開したことで、手にする人が増えた。
- 「KITTAクリア」(キングジム) 貼ってはがせるフィルム素材の透明マスキングテープ。透明感が冬にもマッチする素敵文具。
- 「モレスキンカスタムエディションFor HAKABAKITARO」 きさらぎと妖怪舎の鬼太郎バージョン。怪しくうすら浮かぶ鬼太郎と目玉おやじのデザインは唯一無二。
- 「2+1レグノ」(パイロット) 握りの良い木軸ペンのレグノの多機能ペン。マットで上品なカラー展開は世代問わずおすすめ。
- 「ジュースアップ3、4」(パイロット) めらかな細書きで人気のジュースアップの多色シリーズ。手帳の相棒としても最適。
- 「いろうつし」(パイロット) カッコいい木軸と手軽なプラスチック軸の2種類を揃えたつけペン。様々なインクを楽しめるツール。
- 「Fonteガラスペン」(日本出版販売) ペン先のみガラス製の使いやすいガラスペン。別売のキャップで自分好みにカスタムができる楽しみも。
- 「ライティングマット下敷」(共栄プラスチック) 「書き心地」極めるKiwamiシリーズの究極の下敷。しっかりと厚みがあり、どんな筆記具にも合う強者。
- 「メタシル」(サンスター文具) 削らずに長い間書き続けられる芯まで金属の鉛筆。お客様からの問い合わせが多数ある。

## 店舗掲示板

(お知らせ・イベント情報)

◆福袋2023は高級筆記具が入った「10万円福袋」が登場。当店のオリジナルグッズをセットにした福袋も用意しています。

# 年賀状アンケート

## 出す人と出さない人半々

株式会社パイロットコーポレーション(伊藤社長、東京都)は、手書き文化の象徴とも言える年賀状をテーマとした「2023年ビジネスパーソンの年賀状に関するアンケート調査」(第43回)を、昨年11月17日から約3週間、調査でもっとも少ない結果となり実施し、その結果を12月に公開した。

調査結果によると、「年賀状を出す予定について」は、年賀状を出す人と出さない人が50・9%と、約半数の人が「出さない」という結果となり、「出さない」と回答した人は前年(2022年)調査の65・6%から15ポイント減少した。

「年賀状を出す理由」は、「新年の挨拶で二重うれし」の方法は、第1位の「年賀状」(67・2%)に次いで第2位の「LINEなどのメッセージアプリ」(50・4%)が上だった。

「年賀状が届くとう感じ」の良さを伝えることを目的とした絵画コンペティションで、今年で8回目の開催となる。今回の募集テーマは「My Sweet Home Town」地元を愛する。今年で8回目の開催となる。

# 上位受賞作品など決定

## キャンパスアートアワード

コクヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪市)は、読売中高生新聞と共催し、グランプリ作品がキャンパスアートの表紙となる絵画コンペティション「キャンパスアートアワード2022」(応募期間2022年6月1日～9月14日)の応募作品2039点の中から、上位受賞作品9作品と

審査員特別賞3作品を決定した。「キャンパスアートアワード」は、文部科学省と観光庁が後援する、子どもたちの知性を育み、手書き

「My Sweet Home Town」の良さを伝えることを目的とした絵画コンペティションで、今年で8回目の開催となる。

「My Sweet Home Town」の良さを伝えることを目的とした絵画コンペティションで、今年で8回目の開催となる。

丸善ジュンク堂書店(中川清貴社長、東京都)は、株式会社駿河屋BASBの展開する「駿河屋」にフランチャイズ加盟し、1店舗目として今年3月に、ジュンク堂書店新潟店内に「駿河屋新潟駅前店」をオープンする。

丸善ジュンク堂書店(中川清貴社長、東京都)は、株式会社駿河屋BASBの展開する「駿河屋」にフランチャイズ加盟し、1店舗目として今年3月に、ジュンク堂書店新潟店内に「駿河屋新潟駅前店」をオープンする。

知的生産をサポートする  
Raymay Fuji  
株式会社 レイメイ藤井  
https://www.raymay.co.jp/bungu/

革を楽しむ。システム手帳

革を楽しむ。システム手帳



グランプリ受賞作品